

◎授業に必要なもの

- ・教科書
- ・ノート
- ・学習漢字ノート
- ・よくわかる国語の学習3
- ・国語便覧
- ・ファイル(↑学校再開後に配布します)

◎今年度重点的に取り組んでほしいこと

- ノートの工夫(黒板に書かれていることだけを写すのではなく、気づいたことや自分で分からないことをメモする等…自分にとって見やすい、分かりやすいノートにしましょう。)
- 辞書の活用(自分の語彙を増やすため、知らない言葉は積極的に調べましょう。)
- ワークには計画的に取り組む(家庭学習に活かしましょう。)
- 読書習慣をつける(朝読書がない分、自分から一冊以上は読書しましょう。)
- 文章を詳しく、分かりやすく書けるようにする(受験にも必ず役立ちます!)

◎評価の観点と方法、評定について

国語科では次の五観点を総合的に評価し、評定を出します。

国語への関心・ 意欲・態度	授業へ参加する態度・意欲的な取り組み(発言など)・ 提出物(ノート・プリント・ワークなど)・古典作品の暗唱など
話す・聞く能力	定期試験・スピーチ・小テスト・プリントなど
書く能力	定期試験・作文・プリント(主に文章を書くもの)など
読む能力	定期試験
言語についての 知識・理解・技能	定期試験(漢字や語句の意味・文法に関するもの)・小テスト

記号	説明	到達度	点数
○ A	Aのうちで特に程度の高いもの	90%以上	5点
A	規準を十分超えているもの	80%以上	4点
B	規準を概ね達成しているもの	50%以上	3点
○ C	努力を要するもの	30%以上	2点
C	一層の努力を要するもの	30%未満	1点

評定	観点の合計点
5	22~25点
4	18~21点
3	13~17点
2	9~12点
1	5~8点

※定期試験は年3回あります。【一学期中間】(九月) 【二学期期末】(十一月)

【学年末(三学期)】(一月)

学習課題

1、「国語科学習計画」プリントを読んで、今年度の学習について見通しを持ち、評価について理解する。

2、自分自身の去年の国語への取組を振り返り、良かったところや悪かったところをノートに書く。

3、今年の国語の授業等についての目標や決意をノートに書く。

注意！

・「2」と「3」は、次のページの記入例を参考にし、なるべく具体的に書くようにしましょう。

・2年生の時に使っていたノートのページが余っている人は、そのノートを引き続き利用しても良いです。

1. 自分自身の去年の国語への取組を振り返り、良かったところや悪かったところ

良かったところ " 文法の勉強をがんばったところ

↓ 私は国語が苦手でした。特に一年生の頃に習った文法が苦手でした。二年生の頃に先生が、文法はどんなに難しくなるから、習ったことをきちんと積み重ねる事が大事!と言っていたので、ちゃんと積み重ねる事が大事!と言っていたので、授業をしっかり聞いて、塾でも問題をたくさん解きました。その結果、一・二年生の内容は全て理解できるようになりました。

悪かったところ " 提出物や小テストへの取組

↓ 先生は言われた時は覚えていたけれど、家に帰ると忘れちゃう。その日の朝、友だちに言われたから準備をすることが多かったのが良かったと思います。提出物も選ばれることもあったし、結局出さないまま終わってしまいました。

2. 今年の国語の授業等についての目標や決意

まず、提出物や小テストなどの準備をしっかりして、提出が遅れたり悪い点をとりたくないようになりたいです。今年を受験もあるのだから、気を抜かずにがんばりたいと思います。

また、去年は授業を受けていても、発表をしたり、自分が気付いたことをメモしたりはせず、ただ聞いていただけだったので、今年積極的に授業に参加して、関心・意欲でAをとれるようにしたいです。

そして、関心・意欲以外の観点は、定期テストが大切だと思おうので、なるべく良い点数をとれるように、家でも勉強をするようにしたり、分からないことはしっかり質問したりしていきたいです。